

## 歯学部を支える方々

### “味方” になりたい

事務室総務係 半井野 浩 明

採用後初めて配属された部署で約2年、総務係として出張関係や物品購入の検収・伝票処理などザックリ言いますと主に会計的な業務を担当してきました。昨今の社会的な状況からもシビアにならざるを得ないことも多く、中には「総務係の半井野さんは厳しい会計マンだ」と思われた方もいるかもしれません。私が常に思うのは、先生方の敵になるのではなく、味方でありたいということです。第3者の目に触れた時のリスクから先生を守りたいと思うが故にシビアになってしまうというジレンマの中、その思いが先生方に伝わって

たとしたら、総務係として役割を果たせたと感じます。今後も、先生方が研究の発展、熱意ある指導に専念できるよう、よき“味方”になっていければ幸いです。日頃の温かい歯学部の先生方に、心から感謝申し上げます。大好き、歯学部。



### アイシテル、シガクブ。

事務室総務係 石 栗 慎 也

事務室総務係の石栗と申します。昨年8月より歯学部でお世話になり、早1年が経ちました。業務は主に、実習設備などの予算要求や、研究設備などの契約、年度末の決算など、歯学部のお金に関わることを全般に携わっています。

歯学部では現在大型改修工事の真っ只中で予算規模も大きく、また国立大学への予算が削減されている中で歯学部は多様な実績と独創的なプロジェクトで予算を獲得しており、先生方の熱意に感銘しながら一緒に勤めさせていただいていることに感謝しております。さらにシンポジウムでは外国で仕事もさせて頂き（写真。筆者左）、歯学

部でしかできない経験を多くさせて頂いて非常にやりがいを感じております。校舎の完成と次回の外国出張を楽しみに、歯学部にとって少しでもお力になれるよう勤めて参りますので、今後ともよろしく願いいたします。

